

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：認知症高齢者グループホーム 宇賀の杜・里 楽舎

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設
デイサービス （該当に○）

日時：令和7年7月25日（金）

会場：グループホーム宇賀の里楽舎 相談室

出席者

（配布人数）

利用者代表	0人	地域包括支援センター職員	1人
利用者家族	0人	出雲市職員	1人
地域の代表	1人	グループホーム施設長・管理者・他スタッフ等	2人
役員代表	0人	その他（他施設の見学者）	0人
合計	5人		

（議題）

- ・出席者紹介
- ・グループホーム・デイサービス入居者・利用者状況説明
- ・メイン議題
「生活場面と季節の外出支援」について
- ・参加者の方より一言・アドバイス等

（報告事項）

グループホーム 宇賀の杜・里 楽舎 令和7年度 第2回目（杜114回目・里104回目）となる運営推進会議をグループホーム宇賀の里楽舎で開催致しました。ご家族様の出席は今回はありませんでしたが、地域代表の方や行政の方と外部評価について、アドバイスも頂き、有意義な機会となりました。

○グループホーム 宇賀の杜 利用状況（2025.7.25 現在）

入居者 18名（東舎9名・西舎9名）

男性 4名 女性 14名 平均要介護度 2.66

最高年齢 98歳 最低年齢 74歳 平均年齢 87.1歳

○ディサービス 宇賀の杜 利用状況

現在登録者数 30名

男性 12名 女性 18名 平均要介護度 2.21

最高年齢 94歳 最低年齢 72歳 平均年齢 84.4歳

○グループホーム 宇賀の里 利用状況

入居者 9 名

男性 3 名 女性 6 名 平均要介護度 2.77

最高年齢 94 歳 最低年齢 72 歳 平均年齢 86.7 歳

○メイン議題

「生活場面と季節の外出支援について」

楽舎の日頃の様子を写真を交えて、報告しました。

・外出支援、ドライブ→天気の良い日はドライブへ出かけています。季節の移り変わりを目で見、外の空気を肌で感じて頂き、良い気分転換となっているようです。

・残存機能を活かした支援→内部研修で日頃のケアの振り返りを行いつつ、歩け歩け運動（下肢筋リハビリ）や洗濯干し、たたみといった家事支援を行っています。できることは何か？日々のアセスメントも大事になってきます。

・季節を感じる支援→野菜や花作りも、季節を感じて頂ける取り組みです。毎年、プランターで野菜を育て、利用者様と水やりや収穫も一緒に行っています。

資料を参加者様へ配布し、参加の皆様よりご意見をいただきました。

〈出雲市役所職員様から〉

・コロナも落ち着いてきて、日常が戻ってきて、暑さ・寒さ対策も大変な中だと思いますが、頑張ってください。

〈あんしん支援センター様から〉

・写真を見させてもらいましたが、生活リハビリに力を入れておられるなど感じました。座って過ごされるより、意識がそちらへ向くので良い取り組みと思います。

〈地域代表様から〉

・地域との付き合いとして、文化祭に楽舎さんも毎年参加して下さっています。また、看護学校の学生さんの研修の受け入れも地域として行っており、前回講演会で、楽舎施設長のお話が学生さんにとても感銘を受けたと好評で

した。福祉の郷として、これからもご協力よろしくお願いします。

（その他）

今年度、運営推進会議で外部評価を進めていくことになり、その進め方のアドバイスを頂きました。

- ・ 内部研修とか、避難訓練でしたことを、写真を交えて発表すると良い。

- ・ 一年ごとに外部評価があるので、今年のことは今年のうちにした方が良い。

- ・ 杜と里と同じ内容なら一緒に良い。

貴重なご意見やアドバイスを頂きありがとうございました。

以上